

# チャレンジ工房news

第 93 号 平成 30 年 12 月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

## 工房の日々 ～それぞれの研修風景～

師走になって、朝・晩の冷え込みが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

所員さんと来年のイノシシ年の年賀状の本をみて、楽しみながら年賀状を作ったり、Ayaさんと再来年 2020 年のカレンダーのデザインを打ち合わせるといった日々です。

再来年 2020 年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されている年でもあるため、「日本らしいカレンダーを作りたいね」と Ayaさんと話しています。

本格的な冬の到来で、所員さんもスタッフも、通所・通勤時、体が冷えて研修や仕事に取りかかる前に、体を暖めるのに苦勞する時期になりましたが、今月末の冬期休暇まで頑張っ乗り越えたいものです。

失語症の障害を抱える Bさんは、入所当時より A3 サイズのふりがな付きのオリジナルテキストで、週に 2・3 回、熱心に通所され研修されている成果があつて、今では「Word で作成した文書の中に、イラストを入れることができる」までに、上達されました。

テキストも Bさんが研修してきたことを繰り返し何度でも反復できるように、テキスト入力、文字の大きさや文字色の変更など練習問題に折り返すなどの工夫をしているので、テキスト入力に関してはもう Bさんもお手の物で、ほとんど質問されることもなくなりました。



Bさん自身も長い間、長文も歌詞入力などのテキスト入力の練習を地道にされていたこともあつて、やっぱりイラストなどが入った変化がある文書が作成することができるようになると弾みがつくようです。

イラストを Word の文書の中に、挿入できると「できた、できた」と Bさんと喜び合っている今日この頃です。

来年も Bさんの思いを大事にして、表の作成やワードアートや写真画像を入れた凝った Word 文書の作成などにも挑戦していけたらと考えています。

## 今後の予定

12/17(月) クリスマス会

12:00～14:00

※今年も忘年会を兼ねてクリスマス会を開催します。

軽食や楽しいビンゴゲーム等を用意して所員の皆さんの参加お待ちしております。

12/2(月) 尼うえるフェア

10:00～15:00

市役所 1F ロビー

12/27(木)～1/6(日) 所員さん冬期休暇

※年明けの研修は、1/7(月)からです。

※工房は 12/28(金)まで開けています。

## 「ふれあい野菜市」をしました・・・



今月3日の月曜日に当工房の駐車場で、「ふれあい野菜市」を行いました。

今回も JA 兵庫六甲の方々に、全面的な協力をお願いし、白菜・大根・ほうれん草・ねぎなどの地元のとれたての冬野菜を提供してもらい、格安で販売させて頂きました。

当日は、冷たい小雨が降り続く悪天候でしたが、ありがたいことに早朝から地域の方・数名の所員さんがテント張りや開店準備などの応援に駆けつけてくださいました。

野菜市のチラシを1週間前に、町内会の方にお願ひし回覧板でまわして貰ったり、コミュニティ掲示板に掲示してもらったのですが、「野菜市のチラシ、昨日回覧板でみたから週末のスーパーの特売品に買ってしまったわ」と言う方もおられました。

スーパーでは、なかなか手に入らない「葉付き大根」は人気があり、「葉付き大根が売っているなんか珍しい」「この大根の葉っぱ、漬物にしたら美味しそう」とかなり喜んで貰えることができました。

大庄地域に開所してから8年になりますが、今では地域の方々に私たち障害をもつスタッフにはできない日常大工仕事をしてもらったり、パソコンのトラブルのときや年賀状の印刷のときは、反対に頼りにして貰えるようになりました。嬉しい限りです。

来年以降も引き続き、年に2~3回地域の方々に日頃の感謝の気持ちを込めた野菜市を開催することができればと思っています。



## 「あまの暮らし部会」フォーラムに参加させて頂きました。

先月の29日にあまの暮らし部会主催の「障害者の自立生活」を考えるフォーラムがあり、身体障害者のパネラーとして、参加し講演させて頂きました。

フォーラムでは、私が「一人暮らしを始めた動機」や障害者がより充実した自立生活を送るためには、就労支援施設や地域活動支援センター・リハビリ施設などの「日中活動」の場が必要だと日頃の私自身の生活や工房での勤務を通じて、感じていることをお話させて頂きました。

フォーラムに参加しておられた方の中には、重度障害を抱える若い世代の人や障害をもつ息子や娘に何とか「自立させたい」と願う親御さんも多く来られていたので、少しでも今回のフォーラムがきっかけで、給料所得や障害者年金で生計を立ててながら、「自分らしい自立生活」を志す若い世代の障害者が増えるといいのになあと願っています。

また、子育てを終えて重度の脳性麻痺の女性の方や、長年勤めて来られた会社を定年退職して、今は有料老人ホームで老後を送られている方の話を最後に聞くことができ、私にとって、まだまだ未知な領域なので、これからの人生を設計していく上で、いい勉強になりました。また当工房のホームページでもフォーラムの原稿やPowerPointのプレゼンテーションのデータを掲載させて頂けたらと考えています。(曲 圭子)